

課題	農業用包装資材(ポリネット)を用いた単木保護によるシカ被害防除対策の低コスト化の検証					開発期間 令和2年度～4年度	
開発箇所	群馬県安中市 松井田町上増 田字増田山外 国有林	担 当 部 署	群馬森林 管理署	共同 研究 機関	—	技術 開発 目標	(1)
現状と 問題点	<p>我が国の多くの森林が利用可能な段階を迎える中で、主伐・再造林後の下刈や、ニホンシカ(以下、シカという。)による苗木への被害防除にかかるコストの低減が喫緊かつ重要な課題となっている。</p> <p>このような中、当署管内のシカによる食害の防除対策としては、シカの採食圧の低い地域では忌避剤散布を採用し、シカの採食圧の高い地域では防護柵と単木保護(くわんたい、チューブラー等)を地理的要因等に応じて使い分けながら採用している。防護柵は導入コストの面で単木保護より有利だが、単木保護はシカが保護された苗木周囲の植生を採食することで下刈が不要になるという事例も見受けられ、下刈の削減という副次的効果も期待される。</p> <p>導入コストの面で不利な単木保護をより安価に導入し、再造林コストの低減を図るために、従来の資材よりも資材費・工賃・維持管理費用が安価、且つ、同等の効果を発揮する手法の開発が求められているのが現状である。</p>						
開発目的 (数値目標)	<p>今後、主伐面積の増加に伴う造林面積の拡大を踏まえれば、シカによる食害の防除については、より安価な資材を用いた防除の方法を開発する必要がある。</p> <p>このため、本課題では、市販の防除資材より安価な資材を用いて防除方策を開発することにより、シカによる食害防除方法の低コスト化(約2割)を図ることを目的とする。</p>						
開発方法	<p>平成30年度の伐採箇所(群馬県安中市松井田町上増田字増田山外国有林187へ林小班2.64haのうち0.57ha)において、次の取組を実施する。</p> <p>①カモシカの食害防止で使用された実績のあるミカンネット(9円/本程度)</p> <p>②タマネギネット(230円/本程度)</p> <p>③代表的な市販の単木保護資材(650円/本程度)</p> <p>④無対策(対象区)</p> <p>の計4種類の試験区を設け、防除効果及び資材購入から工程の差異によるコスト比較を行う。</p>						
年度別計画 及び 経費	令和元年度		2年度		3年度		
	1スギ新植 2試験資材設置及び工程調査		1下刈 2シカ食害状況調査(下刈後) 3ネット撤去・付替の工程調査		1下刈 2シカ食害状況調査(下刈後) 3ネット撤去・付替の工程調査 4コスト分析・比較 5とりまとめ		
	千円		千円		千円		
(技術開発委員会における意見)							

- (注) 1 課題欄には、技術開発課題名の他に番号を付して記入する。
 2 技術開発目標欄には、国有林野事業における技術開発目標(長官通知)の3(1)～(3)のうち、該当する目標の番号を記入する。
 3 現状と問題点欄には、他の機関が行っている技術開発との比較等も含めて記入する。
 4 開発目的欄には、開発目的及びコスト削減等について民間業者が取り入れているコスト等と比較し、できる限り数値を記入する。
 5 開発方法欄には、実施に当たった取組方法等を記入する。
 6 年度別計画及び経費欄の経費欄は、課題にかかる経費を記入するとともに、任意の様式で積算根拠を添付する。
 7 課題設定に当たって引用した参考文献、数値目標を設定した理由及び計算根拠等の参考資料を添付する。